



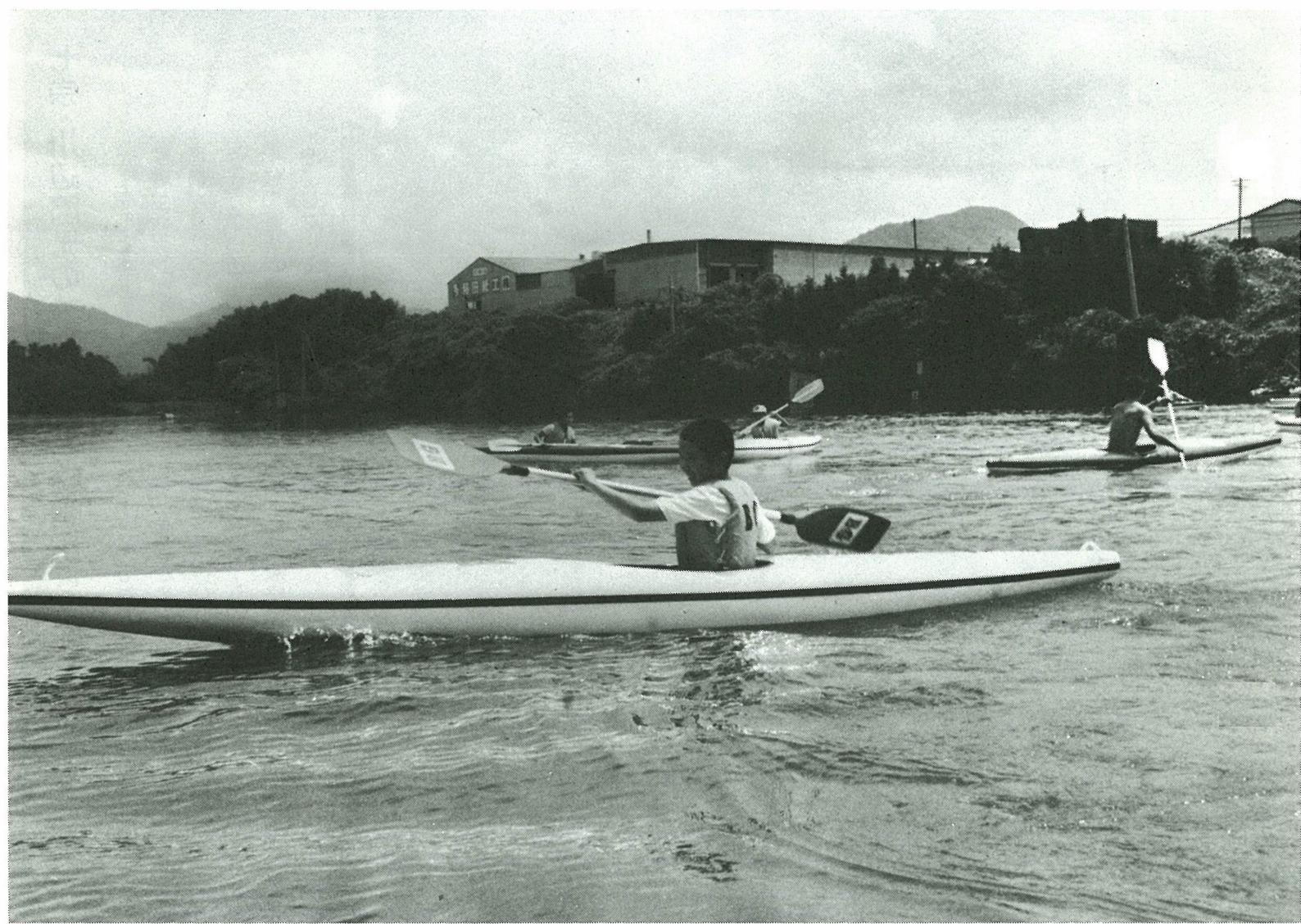
No. 181

59

8

- おもな内容
- 幼児期一しつけをしっかりと ..... ②③
  - 少年の主張(上) ..... ④⑤
  - 引っ越し完了一川辺中一 ..... ⑥
  - ふれあいの輪広がる ..... ⑦
  - まちかど ..... ⑧⑨
  - おしらせ ..... ⑩⑪

発行・岐阜県川辺町 ■ 編集・川辺町役場企画室 ■ 印刷・四橋印刷KK



スイスイをスイスイ  
水の上を

青少年を対象にしたヨット、カヌー、カッターの試乗会が7月25日から27日までの3日間、B&G海洋センターで開かれ、参加者らは海洋スポーツを楽しみました。試乗会は、午前と午後の2回それぞれ3時間ずつ行われ、ヨットやカヌーなど合わせて20隻が用意されました。参加者は小学生がほとんどで、もちろんカヌーなどに乗るのは初めてですが、さすが覚えが早く、元気に川の中央までこぎ出していました。

■人口の動き=7月末(カッコ内は前月比) 総人口 10,572人(-11) 男5,202人(-9) 女5,370人(-2) 世帯数2,695戸(-3)

# 歯みがき!! テレビさき!!

## しっかりしつけ、人間形成の基礎を



歯みがきは、単なる虫歯予防だけでなく、"生活のリズム"として、  
幼児期にしっかりと第二保育園で

調査対象園児は、三歳児百四人、四歳児百八十四人、五歳児二百二十四人の合わせて五百十二人。調査項目は、朝起きてから登園するまでの基本的生活習慣調査と家庭での遊び調査などです。基本的生活習慣調査は①歯みがき、洗顔はできますか②朝、排便はしますか③登園準備は自分でできますか④家庭でのありますか⑤一年を通じて主に何をして遊んでいますかをそれぞれ各年齢別に

### 半数近くが朝の排便なし

今回のアンケート調査は、七宗町と本町の保育園長、主任保母らで構成する郡第二ブロック園長主任会が今年の二月、園児の家庭での生活状況を知ることによって、今後の保育に役立てようとしていました。

調査対象園児は、三歳児百四人、四歳児百八十四人、五歳児二百二十四人の合わせて五百十二人。調査項目は、朝起きてから登園するまでの基本的生活習慣調査と家庭での遊び調査などです。基本的生活習慣調査は①歯みがき、洗顔はできますか②朝、排便はしますか③登園準備は自分でできますか④家庭でのありますか⑤一年を通じて主に何をして遊んでいますかをそれぞれ各年齢別に

登園準備は自分でできるのでしょうか(問い合わせ)。「できる」と答えたのは三歳児で三八%、四歳児四八%、五歳児では六五%です。このように自分で登園準備ができる子が多いのは、親

七宗町と本町の保育園の園児五百十二人を対象にして行った「園児の家庭生活アンケート調査」によると、歯みがき、洗顔など基本的な生活习惯が身についていない子が意外に多く、「遊び」ではテレビに熱中している子が多いことが分かりました。幼児期は、心身の成長が著しく、人間形成の基礎が養われる大切な時期、幼児の家庭生活のあり方を見直すべきではないでしょうか。

### 七宗・川辺園児のアンケート調査から

調べました。

基本的生活習慣調査の結果は左ページ上のグラフのとおりです。これによると、歯みがき、洗顔はできますか(問い合わせ)。という質問に対し、三歳児六九%、四歳児六〇%、五歳児八〇%ができると答えています。数字的にはまだまだ低く、しかも三歳児より四歳児の方が少ないのは問題です。これは四歳ぐらいになると、三歳児に比べ、親のうながしが少なくなっていることが考えられます。「歯みがき、洗顔をしないと気持ちが悪い」という自覚ができるまでうながし続けることが大切です。

次に園児たちは朝排便をしているのかどうかたずねてみました(問い合わせ)。半数近くの園児が排便をしないで登園しています。毎朝決まって排便ができるといふことは、体調が最もよいということです。朝、排便をしないと、夜のうちに消化されたものが体の中にたまつて体調がくずれます。現実に「おなかがいたい」「気持ちが悪い」などと訴える子がたくさんいます。

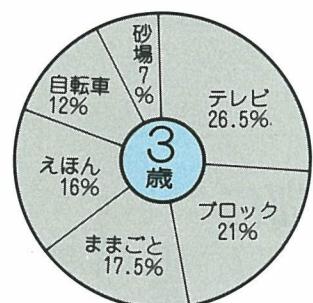
登園準備は自分でできるのでしょうか(問い合わせ)。「できる」と答えたのは三歳児で三八%、四歳児四八%、五歳児では六五%です。このように自分で登園準備ができる子が多いのは、親

## 基本的生活習慣 (各年齢を100として表わしています)

問い合わせ	質問	年齢			割合
		3歳	4歳	5歳	
問い合わせ①	歯みがき、洗顔はできますか?	ハイ 3歳 (69%)	ク 4歳 (60%)	ク 5歳 (80%)	
問い合わせ②	朝、排便はしますか?	ハイ 3歳 (49%)	ク 4歳 (51%)	ク 5歳 (60%)	
問い合わせ③	登園準備は自分でしますか?	ハイ 3歳 (38%)	ク 4歳 (48%)	ク 5歳 (65%)	
問い合わせ④	家庭でのあいさつはしますか?	ハイ 3歳 (54%)	ク 4歳 (74%)	ク 5歳 (87%)	

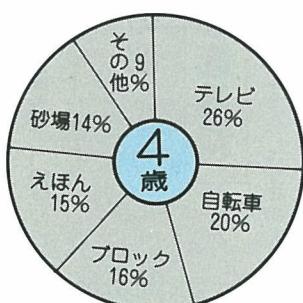
時間がなければできません。朝起きをもう少し早目にし、余裕をもって自分で準備させることが大切です。(保育園で着替えをするときは、自分でできる子がもっと多い=保母さんの話)家庭でのあいさつは、五歳児の場合、約九〇%近くができるよ

うです(問い合わせ④)。子供のあいさつはたいへん気持ちがよいものですが、その出席率は一〇〇%近く、育児に対する親の関心が高いことがうかがえます。お母さんが手本を示しておこうべきです。歯みがきを奨励するのは、単なる虫歯予防だけではなく、基本的な生活習慣を身につけることによって「がまん強い子」「最後までやりぬく子」

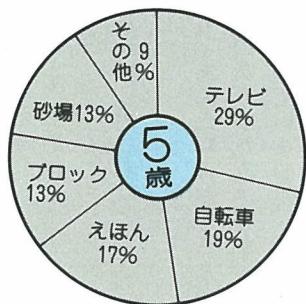


たまには親子で絵本などを遊びにしている子が多いことが分かります! 左のグラフ参照。

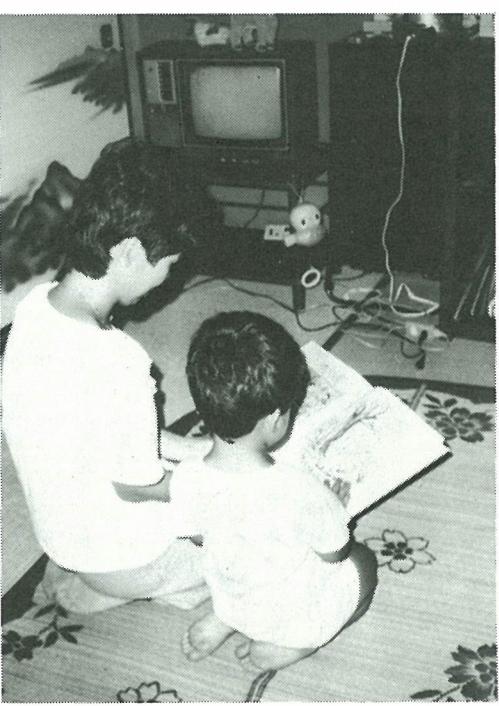
最近の子供には思考力がない、遊びを知らない——よく耳にします。遊ぶ場所が少なくなつたこともありますが、テレビの影響もその原因の一つだと思われます。今回の調査でもテレビを主な遊



三歳児で二六・五%、四歳児二六%、五歳児は二九%、三歳で三歳になつてもテレビから離れられないということもあります。テレビは視力に悪影響をおぼすだけでなく、その内容によ



形遊びでは、こうした思考力、創造性に欠けた子供が多く、保母さんは「すぐ人に頼る」「無気力の子が多い」と答えています。たまにはテレビを見たり、工作をしてみてはどうでしょう。



絵本などは子供の思考力、創造性を高めます。

——などもめざしているのです。町内の各保育園では、保育参観日やミニ集会をもうけて親と話し合い、悩みや希望を聞くとともに生活指導などを行っていますが、その出席率は一〇〇%近く、育児に対する親の関心が高いことがうかがえます。

わが子のしつけを保育園だけに頼るのはよくありません。一日のうち三分の一は家庭で生活しているのです。

基本的生活習慣は「生活のリズム」です。人間形成の第一歩である幼児期にしっかりと養つておくべきです。歯みがきを奨励するのは、単なる虫歯予防だけではなく、基本的な生活習慣を身につけることによつて「がまん強い子」「最後までやりぬく子」

——などもめざしているのです。町内の各保育園では、保育参観日やミニ集会をもうけて親と話し合い、悩みや希望を聞くとともに生活指導などを行っていますが、その出席率は一〇〇%近く、育児に対する親の関心が高いことがうかがえます。

## 少年6主張

# 子供も世界に目をむけて

### 小學生の部

#### 最優秀賞

昨年はくは第一十九回少年の船に乗りました。

少年の船とは全国から集まつた小学一年生から中学三年生まで約五百人が“新ぐる丸”という一万五千トントの船に乗つて団長の井脇ノブ子先生とともに一週間、洋上訓練をする船です。

目的地は沖縄でしたが、台風のため航路を変じ、長崎へ向いました。船上ではいろんな勉強や体験をしました。

船の中での訓練は、まず“恩十徳”を覚える」とから始まります。“恩”といふのは「國の恩」「親の恩」「衆生の恩」です。十徳は、國際性を養うため英語でおそわりました。

- ① Have a pride (ほこりをもて)
- ② Do a voluntary service (奉仕の心をもて)
- ③ Be grateful (感謝の心をもて)
- ④ Be cooperative (協力の精神をもて)



ぼくが少年の船に乗つて学んだもう一つの大いなことは、戦争はとても悲しいものだといつても言葉を使つたように思ひます。あのころの私は「よい子」ではなく、どんなことにも反発し、

- ⑤ Have a sense of responsibility  
(責任感をもて)

- ⑥ Be courageous (勇気をもて)

- ⑦ Be polite (礼儀正しくあれ)

- ⑧ Have a mercy (思いやりの心をもて)

- ⑨ Train our mind (根性を養え)

- ⑩ Be active (積極的であれ)

町内の小中学生による少年の主張大会が6月24日、中央公民館大ホールで開かれました。今月号から三回にわたって最優秀賞、優秀賞を受けた作品を紹介します。

### 中學生の部

#### 最優秀賞

「都子さん、立志のやねえ」と言つていました。恵まれた社会に生まれてきた私が、あまりに

死なんと、親のありがたみが分からんのやねえ」と言つっていました。恵まれた社会に生まれてきた私が、あまりにも自分勝手になりすぎ、いつしか親と

いう大切な人の存在を忘れかけている

ために、母は私に反省させようと言つたのだと思います。けれど、それを聞

くといやな気分がこみあげてきて、結

局ケンカになります。

晩秋の青年の家で母からの手紙を読んで、やつと自分を見つめ直すことができました。今までの自分の行動のはずかしきが目に浮かんできて、いたい私は、今まで何をしてきたんだろうと自分が情けなくなりました。「もうこんな思いはしたくない」その夜私は今までの自分を捨て、新しい自分になると心に決めました。

母の言うとおり、素直に人の話を聞ける人間になれるよう努力しよう。なんでも話せる親子になろう。自分の将来の道を真剣に考え努力しよう——こう心に決めて、自分に期待をかけながら青年の家から帰つ

### 青少年の健全育成



これまでの私は素直でなく、母とは小さな争いが絶えませんでした。なんといつても言葉使いが悪かったように思ひます。あのころの私は「よい子」ではなく、どんなことにも反発し、

考え努力しよう——こう心に決めて、自分に期待をかけながら青年の家から帰つ

## 非行

## 何が彼らを……



今年の四月、おとなりの中国から少年の船交かん生のうち二人が坂祝町にやつてきました。ぼくたちといっしょに交かん会を行いましたが、とつとも楽しかったです。中国から来たヤン君とマア君の二人に先ほど発表しました十徳を中国語で話しました。

- ① パオヨウ ツーハオカン  
② パオヨウ フウーシン

うことでした。長崎の原爆ホームのおじいさんやおばあさんのような戦争のさせになつたかわいそうな人たちが一度とできないよう、ぼくたち子供も世界に目をむけなければいけないと思いました。また、大人はなぜ戦争をするのかとも思いました。

## 中国の友達にも十徳を

境や親子関係、子供の成長段階などによつて対処のしかたも違つてくるからです。

非行に走る少年たちの二人は一人は中学生です。年齢的には十二～十四、五歳、精神的な発達段階からすると第二反抗期にあたります。思春期あるいは第二自己主張期と呼ばれるこの年齢は、一人前の人間として自分の存在を認めさせたいという欲求が非常に強くなつてきます。

仮りにわが子がたばこを吸つているのを見かけたとします。やめさせるには、親としてどう対処するのが良いでしょうか。有無を言わせず、絶対いかんと手打ちで、あるいは未成年者の喫煙は禁じられていると、法律を盾にとつて説得する方法、また、体によくないと健康面で迫るでしょうか。これが最良かは、一概に言えません。家庭環

やない」「親の言うとおりなんて子供っぽくて」——こうした反発心自体は決していけないことではなく、自主性の芽生えといふ点では、むしろ反発しない子

やめさせてはいけないことぐらいい百も承知しています。親にしからされることも分かっています。でも

世の中の決まりだから、親が吸つてはいけないことぐらいい百も承知しています。親にしからされることも分かっています。でも

川辺中3年 高木都子

## ひとつ間違うと非行に

## 子供の心理状態に着目し対処

「第二反抗期」といいます。思春期あるいは第二自己主張期と呼ばれるこの年齢は、一人前の人間として自分の存在を認めさせたいという欲求が非常に強くなつてきます。親から離れて精神的な自立をめざす一つのステップともいえます。「もう親の指図を受ける年じ

供を心配したほうがいいからです。要は第二反抗期を、どう体験させるかということです。自立期ではあるものの、社会的にはまだ未熟なため、ひとつ間違うと非行に陥りやすいということがあります。これは反抗期

③ パオヨウ カンシェン  
④ パオヨウ シューリンチンセン  
⑤ パオヨウ ツーレンカン  
⑥ リュウリュウウチ  
⑦ リュウリュウマオ  
⑧ フーチュヨーアイ  
⑨ ヤンチヨンケンシン  
⑩ チチチュウトン

ほくの中国語十徳も一人に通じたのでとつてもうれしかったです。ぼくはこれからも船の上で教わった「國の恩」「親の恩」「衆生の恩」この三恩と十徳を目標として、毎日を元気に力いっぱいがんばってゆきたいと思っています。

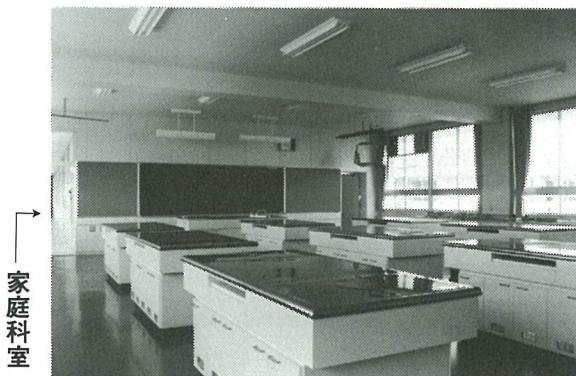
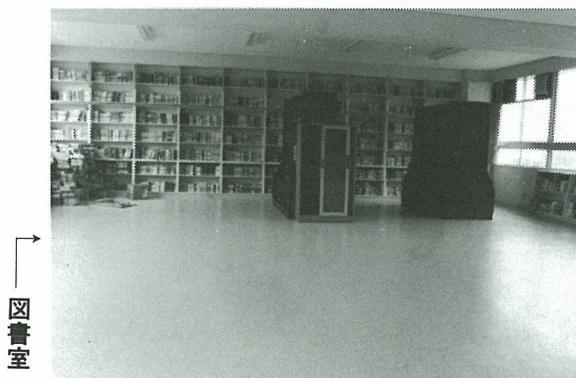
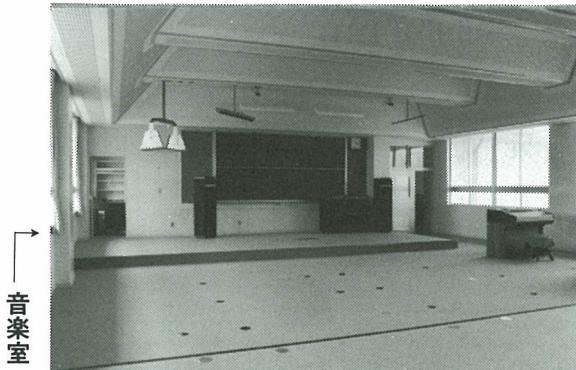
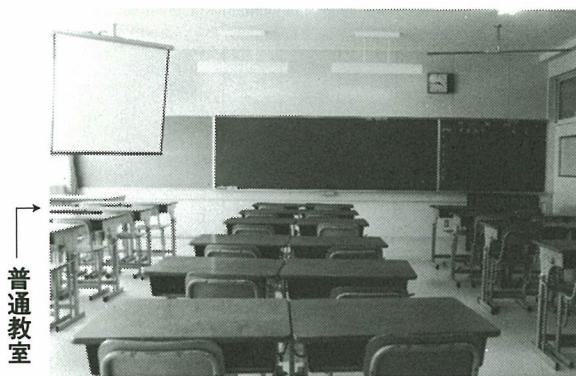
厳しい団体生活の中で自分を見つめ直した私は、人間として一步成長したと思います。家に帰つて親の顔を見るとき、なんとなくはずかしい気持ちでしたが、母はいつも変わらない様子で話しかけてくれました。その後母と話で反発したこともありましたが、「素直な子になるんだ。人の話は落ちていて聞かなければいけないんだ」と自分に言い聞かせていたら、母との会話をスムーズになり、母も私の気持ちを認めてくれました。

今、私は中学三年生。これからは厳しい社会に出て、一人の人間として生きていかなければなりません。苦しいこと、悲しいこと、さまざまなことが私を動かすことでしょう。こんなとき

こそ、青年の家で養つた大人としての心構えの厳しさを忘れないで、しっかりと意志を持つて自分を支えてゆきたいと思います。母が「思いやりのある娘」に育つてほしいと願っているのは、社会に出たとき相手の気持ちを考え、多くの人と接していくけるようになるためだと分かっていました。

どんなときでも、うまく乗り越え、他人の悲しみ、喜びと一緒にかみしめられる人間——そんな社会が必要とする人間を目指にいつまでも素直な心を忘れないで、これから道を歩んでいきたいと思います。

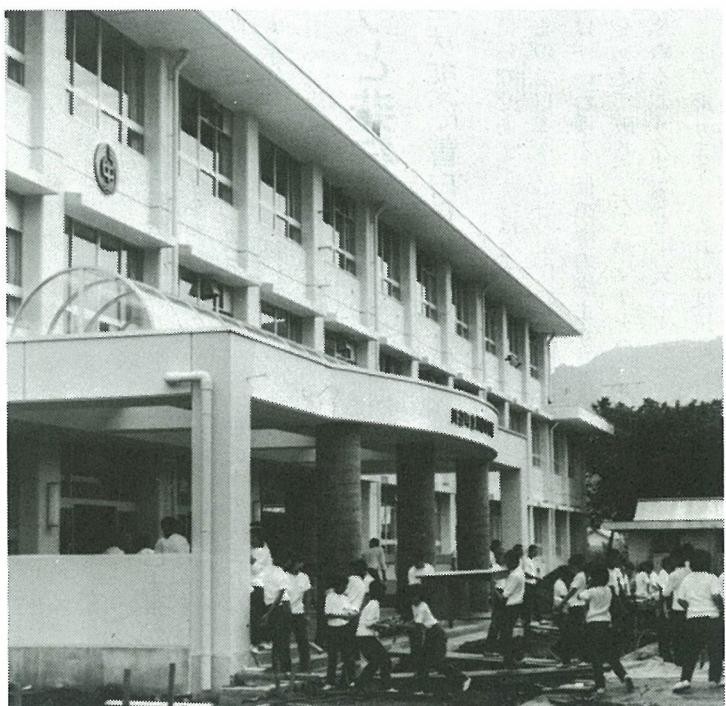
# 川辺中



**早く  
入りたいなあ！**

引っ越し完了、2学期から授業開始

待望の川辺中新校舎が出来上りました。引っ越し作業は7月28日から30日までの3日間、先生、生徒、PTAによって行われました。真新しい教室には、机やいすが整然と並べられ、あとは2学期からの授業開始を待つのみです。今月は新校舎内の施設を紹介します。



7月28日に行われた生徒らによる引っ越し作業

# ふれあいの輪広がる

「おどりファン」は多く、夏の夜を楽しく過ごしました。



町商工会青年部主催の「川辺おどり」が7月28、29の両日、町中央公民館で行われました。今回も多彩な催しが用意され、会場には約一万五千人が訪れました。当日のもようを写真で再現しました。



若者たちに人気のフォークコンサート  
ぎわい。  
たちで大に  
フワは、子供  
ロデオゲームとフワ



満員御礼の『角川博ショーキー』

**ぞうきん**  
を  
寄  
贈

中川辺上婦人会からこのほど、町内の各小中学校へぞうきん合わせて約二百枚が寄贈されました。これらのぞうきんは、同婦人会がボランティア活動の一環として作ったもので

**町消防団へ新鋭車**

町消防団第四分団にこのほど、新鋭小型動力ポンプ積載車が導入されました。この新鋭車は、同分団が今まで使用していた積載車が古くなつたため交替したもので、町の防災に活躍します。消防団への引き渡しは七月十日に行われ、遠藤町長から平岩団長へ鍵が渡されました(写真)。

## 中濃ブロック自転車競技大会



団体優勝し、役場を訪れた東小交通少年団チーム

この大会は、加茂警察署など中濃地区の四警察署と四交通安全協会の主催で行われ、同地区から九校が参加しました。競技種目は全部で三つ。信号交差点や交通標識を取り入れ、一時停止や左右の安全確認を繰り返し各ポイントを回る安全走行テストのあと学科テスト、統いて8の字走行やボールをくぐり抜けるジグザグ進行など難しいコースで自転車をうまく乗りこなす技能走行テストが行われました。

審査の結果、東小交通少年団チームが最高得点をあげ団体優勝、個人の部では佐伯孝志くん

東小にこのほど一輪車十台が贈られ、児童らは大喜びです。

一輪車をプレゼントしたのは



小林さんから贈られた一輪車=東小で

## 個人では佐伯くんら入賞

町代表の東小チームが団体の部で優勝、個人の部で一、二位に入賞しました。

この大会は、加茂警察署など中濃地区の四警察署と四交通安全協会の主催で行われ、同地区から九校が参加しました。競技種目は全部で三つ。信号交差点や交通標識を取り入れ、一時停止や左右の安全確認を繰り返し各ポイントを回る安全走行テストのあと学科テスト、統いて8の字走行やボールをくぐり抜けるジグザグ進行など難しいコースで自転車をうまく乗りこなす技能走行テストが行われました。

同小では、二学期に入ったら早速乗り方を学び、四年生以上の児童に使ってもらうことにしています。児童らは、ピカピカの一輪車に乗れる日を心待ちにしています。

## 東小が団体優勝

野村裕美さん このほど開かれた「加茂地区歯の優良審査会」で一位に入賞しました。  
(12歳・上川辺)

亀山紀好さんら 美濃加茂市の中茂総合庁舎で開かれた五十九年度加茂地区交通安全協会の総会で、交通安全に寄与した次のみなさんが表彰されました。  
(敬称略)

▽功労者 亀山紀好(上川辺)



このほか、上川辺の田口将隆くん(二年)が優良賞を受けました。

▽永年役員 佐伯茂(下麻生)、桜井省三(下川辺)、井島とみ子(同)、長尾幸行(中川辺)、渡辺好一(福島)、馬場和子(比久見)

▽副会長 桑畠直喜(上川辺)、羽田野静雄(中川辺)  
▽書記 水野宏(同)  
▽会計 岡田勇(下吉田)

▽地区理事 上川辺=桑畠直喜 石神=平岡義樹、桜井利夫 中川辺=遠藤英樹、羽田野静雄 西柄井=日下部明伸 下川辺=木下富勝 鹿塙藤誠治(下川辺)、水野宏(中川辺)、桜井菊男(比久見)、岡田勇(下吉田)、井戸喜男(鹿塙) 加藤栄樹(石神)  
▽子ども会育成指導者 加藤誠治(下川辺)、水野宏(中川辺)、桜井菊男(比久見)、岡田勇(下吉田)、井戸喜男(鹿塙) 加藤栄樹(石神)  
▽県青少年推進指導員 横田利一(鹿塙)

▽地区理事 上川辺=桑畠直喜 石神=平岡義樹、桜井利夫 中川辺=遠藤英樹、羽田野静雄 西柄井=日下部明伸 下川辺=木下富勝 鹿塙藤誠治(下川辺)、水野宏(中川辺)、桜井菊男(比久見)、岡田勇(下吉田)、井戸喜男(鹿塙) 加藤栄樹(石神)  
▽子ども会育成指導者 加藤誠治(下川辺)、水野宏(中川辺)、桜井菊男(比久見)、岡田勇(下吉田)、井戸喜男(鹿塙) 加藤栄樹(石神)  
▽県青少年推進指導員 横田利一(鹿塙)

▽地区理事 上川辺=桑畠直喜 石神=平岡義樹、桜井利夫 中川辺=遠藤英樹、羽田野静雄 西柄井=日下部明伸 下川辺=木下富勝 鹿塙藤誠治(下川辺)、水野宏(中川辺)、桜井菊男(比久見)、岡田勇(下吉田)、井戸喜男(鹿塙) 加藤栄樹(石神)  
▽子ども会育成指導者 加藤誠治(下川辺)、水野宏(中川辺)、桜井菊男(比久見)、岡田勇(下吉田)、井戸喜男(鹿塙) 加藤栄樹(石神)  
▽県青少年推進指導員 横田利一(鹿塙)

## 早く乗りたいなあ!

## 東小に一輪車、児童ら大喜び

車は子供らのバランス感覚を養うのに最適なスポーツで、すでに町内では北小と西小に備えられています。小林さんは「孫がお世話になっています。体力づくりに役立ててください」と七月十二日同小へ届けました。

同小では、二学期に入ったら早速乗り方を学び、四年生以上の児童に使ってもらうことにしています。児童らは、ピカピカの一輪車に乗れる日を心待ちにしています。







# くらしの歴史講座



## No.2

費生活に関する苦情や相談を受け付けます。

### 「消費生活の苦情 はモニターへ」

苦情や相談が多い商品は、学習教材、英会話教材、化粧品、消火器などです。販売方法もさまざま、路上で呼びとめ、商品をすすめるキャラクター・セールス。電話で「コンピューターで選ばれました」などといって、喫茶店に呼び出すアポイント・セールス。公民館などで熱狂的な雰囲気のもとで購入意欲をかきたてて商品を売る催眠商法などがあります。

苦情になるのは、次のような場合です。

消費者の個々の商品、サービスに対する不満や苦情は、基本的に実行してくれない。これは契約書をよく読むことです。契約の内容は、教材の販売だけに一度トラブルが起きた場合、直接交渉ができなかつたり、交渉ができても情報量などに相当な格差があり、消費者は不利な状態になります。

そこで国や県、町では窓口を設け、こうした苦情処理にあたっていますが、このほか消費者が相談しやすいように消費生活モニターを置いています。本町の消費生活モニターは、中川辺の渡辺まさ子さん（電53-4589）です。みなさんからの消

勇気をもって断わりましょう。

## ■わたしたちの作品

会員券——路上で呼びとめられて購入したが、実際には使えない。そうもない未成年の人に多いの渡辺まさ子さん（電53-4589）です。みなさんからの消

勇気をもって断わりましょう。

狂		佛	
天地キリ	砧打つ納屋ぼんやりと窓明り	桐一葉	雲置き替えて秋動く
喜劇	笑いの中に涙あり	枝松	鹿笛
今日の月	雅の庭に筆が集る	桐花	木夕
氣を配り	箱入り娘に虫集せぬ	高木	九重
家計赤字にならで済む	お客さん帰れと言えずニコニコし	肥田	高木タ子
癌と知らず介抱せる	こわがりのくせしてこわいものが好き	谷政幸	谷政幸
山口	給食が残るとすぐにジャンケン	田麻美	田麻美
静志	安物を買って自慢しばかにされ	岩永令子	岩永令子
和風	セールスマン家を見てから入つて来	高田哲二	高田哲二

## 中学生の山柳

中学生から高校生になるころにはいろいろな人生経験をします。いつも楽しいことばかりではなく、心が傷つけられることがあります。また、勉強の成果が上がらないとか、大事な試験に失敗した、あるいは親しい人が遠くに転居したり死亡するということもあります。このように希望や期待が実現しなかつたり、失つたりして目の前が暗くなるような経験のことを挫折感とい

## 子の挫折、やさしく対話

死んでしまおうかと思つたりもします。

こんなことがあっても本人は家庭の中で沈黙を守ります。何があつたのかと聞いても明

答しません。父親はこんなと

き、子供を問いつめたり、し

それを非難したりせずに静かに受容的な態度で聞いてください。挫折している子供の気持ちをまずくみどることが大切で、父親の意見や感想を述べるのはもつと先のことになります。



います。

大人になるまでには人はいろいろな苦しい経験を重ね、それによって難問を解決してゆく知恵を身につけていくのですが、初めての挫折感のときは大きな絶望に陥ります。

かつたりしてはいけません。無視、無関心も適切ではありません。食事に誘うとか、散歩につれ出すなどしてゆつくりとあせらずに子供から話を待ってください。必らず子供のほうから話してきます。

かつたりしてはいけません。